

理事長あいさつ

組合員の皆様には、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。



長野県鐵構事業協同組合
理事長 飯島 正博

日頃は、組合運営並びに組合事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

過日、5月21日の通常総会では、議案の通りに全て承認されました。これから計画に添って今年度の事業をスタートして参ります。

昨年度は、鋼構造物鉄工など、教育技術事業の受講者が大幅に増加しました。技術・技能者育成に対する組合への要求の強さを感じます。今年度も、昨年並みの受講者が有るものと想定した計画を立てて、事業を推進して参ります。

平成30年の推計鉄骨需要量は518万トンと6年連続で500万トンを超えとなりました。今年度も都市部での再開発事業や外国人観光客の増加による宿泊施設・商業施設の需要は底堅いものと思われ、現在の比較的恵まれた状況が継続されることが期待されます。

しかしながら、大都市圏への仕事の集中や、中小鉄骨の相対的な減少などによる仕事量のファブ間格差が広がることの心配もあります。

又、一方では図面承認の遅れが常態化して、工程に与える影響も大きい中での働き方改革への対応、取組みも求められます。

又、昨年度からの高力ボルトの入手難は一層深刻度を増しており、とりわけ中小建築物の構造変更など悪影響が出るのが懸念されます。これらの不安定要素もあって経営的には、楽観できない状況も予想されます。

問題解決に向けては、組合員が一致団結した対応をする事が大事です。

また、組合員相互の連携をより強めて、また情報や意識の共有を図る事を一層進めてまいります。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

